

平成29年度予算（案） 保健福祉政策の充実

少子高齢化や人口減少、単身世帯の増加など、市民の暮らしを取り巻く環境は急速に変化している。今般、一億総活躍社会づくりが進められる中、高齢者や障害者など、地域で生活する市民が互いに支え合う共生社会の実現に向け、住民主体の地域づくりや包括的な支援体制が求められている。

平成29年度は、医療や介護が必要となっても住み慣れた地域で継続して生活できる「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みを推進するとともに、部局横断的な包括的支援体制を視野に入れた、高齢者支援や障害者支援、健康づくり推進等の次期計画づくりに取り組む。

あわせて、平成30年度に実施される難病法関係事務の県からの権限移譲に向けた準備や、平成31年度までに犬猫致死処分ゼロを目指すための取組を着実に進める。

また、国家戦略特区を活用して、介護ロボット等の導入による「先進的介護」の実現を目指す。

（1）地域福祉・高齢者福祉の推進

地域全体で支え合い、ずっと健やかに暮らせる安全・安心なまちづくりを目指し、現行計画を受け継ぐ新たな計画づくりに取り組む。また、高齢者の生活支援やいきがづくりなど、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた施策を推進するほか、介護ロボット等を活用した先進的介護の実証に取り組む。

（2）障害福祉の推進

障害があっても、その人らしく生活できる社会の実現に向けて、新たな障害者支援計画の策定に取り組む。また、障害者差別解消や発達障害者支援など、自立と共生を支える社会環境づくりを推進する。

（3）健康の維持・向上と地域医療の充実

健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現を目指し、次期北九州市健康づくり推進プランを策定する。また、がん検診の推進や口腔保健支援に取り組むほか、骨髄等ドナーの普及促進や難病患者支援など、健康・医療を支える社会環境の整備を推進する。

（4）保健・衛生管理体制の充実

市民の健康と安全を守り、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、感染症対策や自殺対策など、保健・衛生管理体制の更なる充実に取り組む。

平成29年2月9日
保健福祉局総務課(582-2403)

平成29年度当初予算規模 (歳出)

<一般会計>

(単位:千円、%)

款 別	29年度当初予算	構成比	28年度当初予算	構成比	対前年度(当初) 増減額	対前年度 増減率
3 款 保健福祉費	155,425,089	27.6	157,111,487	28.5	▲ 1,686,398	▲ 1.1
6 款 労働費	130,438	0.0	130,003	0.0	435	0.3
保健福祉局 合計	155,555,527	27.6	157,241,490	28.5	▲ 1,685,963	▲ 1.1
市全体一般会計 合計	562,849,000	100.0	551,454,000	100.0	11,395,000	2.1

<特別会計>

(単位:千円、%)

会 計 別	29年度当初予算	構成比	28年度当初予算	構成比	対前年度(当初) 増減額	対前年度 増減率
国民健康保険	132,024,000	19.0	134,855,000	19.4	▲ 2,831,000	▲ 2.1
一人当たり平均保険料(年額) (医療分+支援金分)	72,698円	—	72,181円	—	517円	0.7
一人当たり平均保険料(年額) (介護納付金分)	20,297円	—	18,497円	—	1,800円	9.7
一般会計繰入金	14,397,000	—	16,297,000	—	▲ 1,900,000	▲ 11.7
介護保険	98,361,000	14.2	92,892,000	13.4	5,469,000	5.9
一人当たり保険料基準額(年額)	68,400円	—	68,400円	—	0円	0.0
一般会計繰入金	14,101,434	—	12,982,132	—	1,119,302	8.6
後期高齢者医療	15,871,000	2.3	14,995,000	2.2	876,000	5.8
一人当たり平均保険料(年額)	76,506円	—	76,506円	—	0円	0.0
一般会計繰入金	3,910,163	—	3,748,582	—	161,581	4.3
食肉センター	307,000	0.0	365,000	0.1	▲ 58,000	▲ 15.9
一般会計繰入金	180,167	—	180,839	—	▲ 672	▲ 0.4
保健福祉局 合計	246,563,000	35.6	243,107,000	35.0	3,456,000	1.4
市全体特別会計 合計 (含む企業会計)	693,516,250	100.0	693,609,650	100.0	▲ 93,400	▲ 0.0

<予算総額>

(単位:千円、%)

	29年度当初予算	構成比	28年度当初予算	構成比	対前年度(当初) 増減額	対前年度 増減率
保健福祉局 総計	402,118,527	32.0	400,348,490	32.2	1,770,037	0.4
市予算 総計	1,256,365,250	100.0	1,245,063,650	100.0	11,301,600	0.9

重点的に取り組みを行う主な事業

※ ⑨は新規事業、⑩は拡充事業

(1) 地域福祉・高齢者福祉の推進

○ 地域包括ケアの推進

医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で継続して生活できる「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、「医療」「介護」の在宅支援に向けた方向付けや、「介護予防」「住まい」「生活支援」の地域資源が創出されるような環境づくりを推進する。

(主な事業)

- ⑨⑩介護予防・生活支援サービス事業(介護特会)

2,571,294千円

<内訳>

- ・⑩介護予防・生活支援サービス事業(予防給付型・生活支援型)

2,545,564千円

要支援1・2の認定を受けた方が利用する訪問介護及び通所介護について、平成28年10月より「介護予防・生活支援サービス事業(予防給付型・生活支援型)」への移行を開始し、平成29年度中に移行を完了する。

- ・⑨介護予防・生活支援サービス事業(サービスC検証実施)

25,730千円

介護予防・生活支援サービス事業における「訪問と通所を組み合わせた短期集中予防型(サービスC)」について、平成28年度のモデル事業を踏まえた検証実施を行う。

- ⑩介護予防ケアマネジメント事業(介護特会)

348,974千円

平成28年10月より移行を開始し、平成29年度中に移行が完了する「介護予防・生活支援サービス事業」の対象者に対して介護予防ケアマネジメント(ケアプラン作成等)を行う。

- ⑩医療従事者等認知症対応力向上研修事業

2,000千円

病院勤務の医療従事者や歯科医師、薬剤師、看護師等が認知症ケアについて理解し適切な対応を出来るようにするため、対応力向上研修を実施する。

➤ ㊦ 認知症地域支援・ケア向上事業(介護特会)

36, 135千円

認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続できるよう、認知症地域支援推進員を配置し、地域における支援体制を構築する。また、認知症の人や家族が適切な支援を受けられるよう、市民等への啓発や情報提供を推進する。

〈認知症地域支援推進員を1名増〉

➤ ㊦ 地域相談支援事業(介護特会)

103, 000千円

高齢者がいつまでも地域で元気に暮らせるよう、住民相互の見守りや支え合い、住民による地域での介護予防活動、生活支援サービスの創出を促進するため、各区に地域支援コーディネーターを配置し、ボランティアやNPO法人などの地域資源の発掘、地域での支援体制構築のための協議体の運営支援などを行う。

〈地域支援コーディネーターを3名増〉

➤ 北九州市認知症支援・介護予防センター運営事業

11, 500千円

経年的な健康長寿についてのデータ分析を進めるとともに、市民一人ひとりに、認知症についての正しい知識や支援のあり方、介護予防の重要性について理解を深める一体的な取り組みを推進する。

➤ 在宅医療普及推進事業

1, 727千円

かかりつけ医を中心に専門職が連携し、患者の希望に沿った在宅医療サービスの提供がなされるよう、地域の専門職の参画促進等により在宅医療の環境整備を推進する。

➤ 在宅医療・介護連携推進事業(介護特会)

102, 000千円

医療と介護の両方を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護の関係機関が連携し、サービスが一体的に提供される体制の構築支援を図る。

○ ㊦ (仮称)第五次北九州市高齢者支援計画策定事業

2, 000千円

本市の高齢者施策の基本計画であり、介護保険事業計画を包含する「第四次北九州市高齢者支援計画」が、平成29年度末で終了するため、次期計画を策定する。

○ ㊦ 介護ロボット等導入実証事業

75,300千円

「先進的介護」の実現に向けて、介護職員の負担軽減を図るための介護ロボット等の導入実証を行う。また、介護現場の意見を聞きながら介護ロボット等の活用や、腰痛予防のためのノーリフティングケアも含めた「新たな働き方」の検討を行う。

○ ㊧ 高齢者いきがい活動ステーション連携事業

1,000千円

北九州市版「生涯活躍のまち」を促進するため、「いきがい活動ステーション」と「移住コーディネーター」が連携し、首都圏に向けた情報発信を行うとともに、年長者研修大学校や生涯現役夢追塾の体験講座等を実施する。

○ ㊨ 介護のしごと「人材定着・職場環境改善」事業

6,000千円

高齢化の進展に伴いますます必要となる介護人材の定着を図るため、介護事業所経営者のマネジメント力向上支援や、介護事業所の積極的な職場環境改善の取組を顕彰する事業を実施する。

○ ㊩ リハビリテーション相談支援モデル事業(介護特会)

8,900千円

介護サービス事業所等の関係者に対し、利用者の活動性を高めたり、少しでもできることを増やすためのリハビリテーションに関する相談支援等をモデル的に実施する。

○ ㊪ レインボー広場再整備等事業

263,000千円

レインボープラザ地下1階のレインボーホール等を解体・埋め戻しのうえ、レインボー広場を再整備するとともに、レインボープラザの会議室の改修などを行う。

○ 人権の約束事運動の推進

6,066千円

人権に関する身近なテーマを約束事として掲げ、それを市内の団体、企業、施設、学校、また個人的なグループなどで守っていく市独自の市民運動を実施する。

(2) 障害福祉の推進

○ ⑧ 次期北九州市障害者支援計画策定事業

7,000千円

障害者基本法、障害者総合支援法に基づき策定している「北九州市障害者支援計画」の計画期間が平成29年度末で終了するため、次期計画を策定する。

○ 総合療育センター再整備事業

2,518,500千円

(他に債務負担 546,000千円)

平成30年度中の開所に向け、障害児の療育及び医療の中核施設である総合療育センター再整備工事を実施するとともに、医療機器の購入や情報システムの構築を実施する。

○ 障害者差別解消法推進事業

14,300千円

平成28年4月の障害者差別解消法の施行に伴い、障害を理由とした差別の解消を推進するための、相談・紛争防止等に係る体制整備、障害者差別解消支援地域協議会の運営、普及・啓発活動、コミュニケーション支援を強化する。加えて、障害者差別解消条例の方向性等を検討する。

○ ⑨ 訪問入浴サービス事業

22,651千円

自宅や通所サービスなどで入浴することが困難な重度障害のある人に対し、看護師やヘルパーが乗車した移動入浴車を派遣し、入浴サービスを提供する。平成29年度より、夏季における週2回の派遣期間(7月～9月)を5月～10月へ拡充する。

○ ⑩ (仮称)重度障害者大学等進学支援事業

6,000千円

命の危険回避のための支援が必要な、生命維持装置を装着している重度の全身性障害者を対象に、通学や学校内の活動等の際の介助を提供することで、大学等への進学を支援する。

○ 発達障害者総合支援事業

43,815千円

北九州市発達障害者支援センター「つばさ」を拠点に、各種相談への対応や市民、支援者に対する啓発活動や研修会等を行うとともに、親の会等への事業補助やライフステージを通じた情報引継ぎの仕組みづくりを行う等、継続的な支援を実施する。

○ **障害者就労支援事業**

39,470千円

障害のある人の就労及び障害のある人を雇用する企業を支援するため、国・県と協力して「北九州障害者しごとサポートセンター」を運営するとともに、就労支援強化事業として、同センターに障害者就労プロモーターを配置し、企業見学会等の各種企画を実施する。

(3) 健康の維持・向上と地域医療の充実

○ **新**北九州市健康づくり推進プラン次期計画策定事業

2,000千円

「北九州市健康づくり推進プラン」の計画期間が平成29年度末で終了するため、次期計画を策定する。

○ **新**食育に関する実態調査

3,000千円

第二次北九州市食育推進計画期間終了にあたり、現計画の指標に対する評価と次期計画策定のための基礎資料とするため、食育に関するアンケート調査を行う。

○ **北九州市認知症支援・介護予防センター運営事業(再掲)**

11,500千円

経年的な健康長寿についてのデータ分析を進めるとともに、市民一人ひとりに、認知症についての正しい知識や支援のあり方、介護予防の重要性について理解を深める一体的な取り組みを推進する。

○ **拡**認知症地域支援・ケア向上事業(介護特会)(再掲)

36,135千円

認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続できるよう、認知症地域支援推進員を配置し、地域における支援体制を構築する。また、認知症の人や家族が適切な支援を受けられるよう、市民等への啓発や情報提供を推進する。

＜認知症地域支援推進員を1名増＞

○ **拡**難病患者支援体制推進事業

49,000千円

難病患者支援の拠点である難病相談支援センターを整備するとともに、平成30年4月の権限移譲に向けて、難病の医療費管理システムの構築や認定体制づくりなどの準備を行う。

○ **拡**フッ化物塗布事業

14,094 千円

1歳6か月児歯科健康診査時に行っているフッ化物塗布を新たに3歳児歯科健康診査時にも行い、う蝕^{しよく}罹患率の減少、乳幼児歯科健康診査の受診率向上を図る。

○ **拡**がん検診推進事業(県との共同事業等)

34,000千円

一定の年齢の方に、がん検診の無料クーポンと検診手帳等を送付するとともに福岡県との共同事業により、がん検診車の巡回回数を増加し、がん検診の受診機会を拡充する。

○ **新**北九州市骨髄等ドナー普及促進事業

3,000千円

骨髄等提供者の休業による経済的負担を軽減するための助成を行うことにより、骨髄・末梢血幹細胞移植及びドナー登録を推進する。

○ 在宅医療普及推進事業(再掲)

1,727千円

かかりつけ医を中心に専門職が連携し、患者の希望に沿った在宅医療サービスの提供がなされるよう、地域の専門職の参画促進等により在宅医療の環境整備を推進する。

○ 在宅医療・介護連携推進事業(介護特会)(再掲)

102,000千円

医療と介護の両方を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護の関係機関が連携し、サービスが一体的に提供される体制の構築支援を図る。

(4) 保健・衛生管理体制の充実

○ **新**感染症患者移送事業車両更新

8,500千円

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、患者を感染症指定医療機関に受診させるため、移送用車両を更新する。

○ ㊦ 自殺対策事業

28,656千円

本市における自殺の現状や地域特性などを踏まえ、心の健康づくりに関する普及啓発やハイリスク者への支援、地域におけるゲートキーパー養成研修の実施など、関係機関と連携しながら、総合的な自殺対策を進める。

○ 斎場大規模改修事業

649,000千円

(他に債務負担 301,000千円)

老朽化した斎場の大規模改修を計画的に進めており、平成29年度は西部斎場の待合棟や駐車場の改修工事等を行う。

○ 犬猫致死処分ゼロ対策事業

8,300千円

市民の理解と協力をさらに広げるための啓発事業を実施するとともに、収容された犬、猫の譲渡を推進し、平成31年度に致死処分ゼロを目指す。

平成29年度国民健康保険特別会計予算（案）

1 被保険者等の現状（H29 加入者見込）

- ・ 被保険者数：228,000 人（うち 65 歳以上 75 歳未満の前期高齢者数 100,300 人（44.0%））
- ・ 加入世帯数：144,500 世帯

2 平成29年度予算の概要

高齢化の進展や医療の高度化等により、一人当たりの保険給付費等が増加しているが、一般会計からの繰入れを確保し、保険料の負担軽減を図る。

平成29年度は、保険給付費が対前年比 40.4 億円と大幅に減少しており、これに伴い予算総額も 28.3 億円の減少となった。

一般会計繰入金は 144 億円で、対前年比 19 億円の減となっており、これは主に、前期高齢者交付金の増（対前年比 21.5 億円）によるものである。

（1）予算総額 （単位：千円）

項目	平成29年度予算 (A)	平成28年度予算 (B)	増減 (A)－(B)
歳入・歳出総額	132,024,000	134,855,000	▲2,831,000

（2）主な歳入 （単位：千円）

項目	平成29年度予算 (A)	平成28年度予算 (B)	増減 (A)－(B)
保険料	17,414,321	18,074,671	▲660,350
国・県支出金	34,695,207	36,984,200	▲2,288,993
前期高齢者交付金	31,056,519	28,907,920	2,148,599
一般会計繰入金	14,397,000	16,297,000	▲1,900,000

（3）主な歳出 （単位：千円）

項目	平成29年度予算 (A)	平成28年度予算 (B)	増減 (A)－(B)
保険給付費	79,395,860	83,440,410	▲4,044,550
後期高齢者支援金	12,255,815	12,565,479	▲309,664
介護納付金	4,343,553	4,304,778	38,775

（4）一人あたり保険料 （単位：円）

項目	平成29年度(A)	平成28年度(B)	増減(A)－(B)
医療分	53,593	53,865	▲272
後期高齢者支援金分	19,105	18,316	789
介護納付金分	20,297	18,497	1,800

40 歳～64 歳
に限る

3 平成29年度制度改正について

- 保険料軽減の拡充（5割軽減・2割軽減世帯の拡大）
- 70歳以上の高額療養費の見直し
- 入院時の居住費の見直し

平成29年2月9日
保健福祉局保険年金課(582-2415)

平成29年度介護保険特別会計予算（案）

◆予算総額について

（単位：千円）

		平成29年度予算	平成28年度予算	増減(H29-H28)
予算総額		98,361,000	92,892,000	5,469,000
主な歳入内訳	一般会計繰入金	14,101,434	12,982,132	1,119,302
	介護保険料	17,535,850	17,325,678	210,172
	国県等支出金	63,847,098	60,038,598	3,808,500
主な歳出内訳	保険給付費	90,405,988	86,875,900	3,530,098
	地域支援事業費	4,941,562	2,826,763	2,114,799

※ 歳入、歳出内訳は、抜粋した金額であり、予算総額とは一致しない。

◇平成29年度介護保険特別会計は、介護職員処遇改善の前倒し実施等による保険給付費の増額などにより、前年度予算に対し約54億6千万円の増となっている。

地域支援事業における新規・拡充事業

<介護予防・生活支援サービス事業（予防給付型・生活支援型）>

要支援1・2の認定を受けた方が利用する訪問介護及び通所介護について、平成28年10月より「介護予防・生活支援サービス事業（予防給付型・生活支援型）」への移行を開始し、平成29年度中に移行を完了する。

<介護予防・生活支援サービス事業（サービスC検証実施）>

介護予防・生活支援サービス事業における「訪問と通所を組み合わせた短期集中予防型（サービスC）」について、平成28年度のモデル事業を踏まえた検証実施を行う。

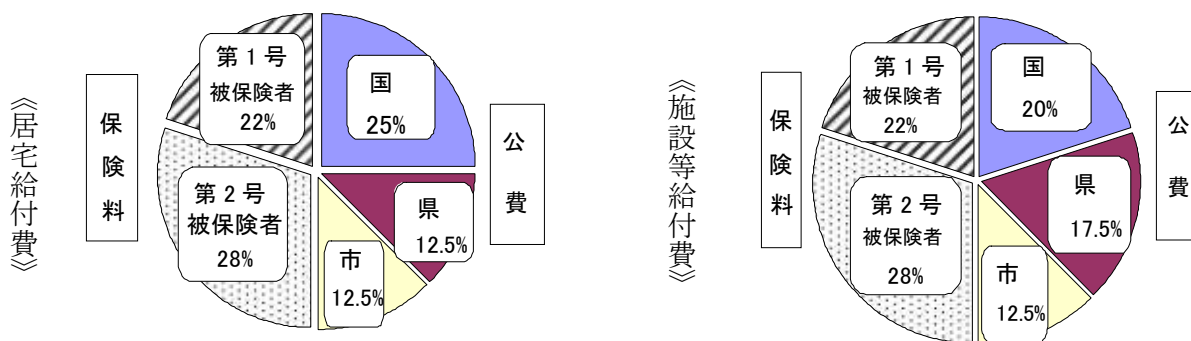
<リハビリテーション相談支援モデル事業>

介護サービス事業所等の関係者に対し、利用者の活動性を高めたり、少しでもできることを増やすためのリハビリテーションに関する相談支援等をモデル的に実施する。

<地域相談支援事業>

高齢者がいつまでも地域で元気に暮らせるよう、住民相互の見守りや支え合い、住民による地域での介護予防活動、生活支援サービスの創出を促進するため、各区に地域支援コーディネーターを配置し、ボランティアやNPO法人などの地域資源の発掘、地域での支援体制構築のための協議体の運営支援などを行う。

<参考> 介護保険給付費の費用負担割合



平成29年2月9日

保健福祉局介護保険課(582-2771)

平成 29 年度後期高齢者医療制度に係る予算（案）

1 後期高齢者医療の現状

	H29 年度予算	H28 年度予算	伸び率
被保険者数（本市分）	144,284 人	140,042 人	3.0%
一人当たり医療給付費（福岡県）	1,117,237 円	1,118,176 円	▲0.1%

2 後期高齢者医療に係る予算

(1) 特別会計

後期高齢者医療は、県内市町村が加入する福岡県後期高齢者医療広域連合が財政運営を行っており、保険料も広域連合が決定する。

① 予算総額

158 億 7,100 万円（対前年度比 8 億 7,600 万円の増）

主な増加項目は、保険料負担金（7 億 6 千万円増）、保険基盤安定負担金（1 億 2 千万円増）である。

② 保険料

一人当たり保険料の改定は 2 年に 1 度のため、平成 29 年度の保険料は前年度と同様である。

一人当たり 保険料 (年額)	H28・29 年度	H26・27 年度	増 減
	76,506 円	78,717 円	▲2,211 円

③ 一般会計繰入金

低所得者等の保険料を軽減するための「保険基盤安定負担金」が 1.2 億円増加し、「事務費繰入金」が 0.4 億円増となる。

	H29 年度	H28 年度	増 減
保険基盤安定繰入金	32.9 億円	31.7 億円	1.2 億円
事務費繰入金	6.2 億円	5.8 億円	0.4 億円

(2) 一般会計

後期高齢者の医療給付費については、市町村が 12 分の 1 を負担することとなっている。

被保険者の増加による医療給付費の伸びにより、対前年度 2.5 億円の増加となっている。

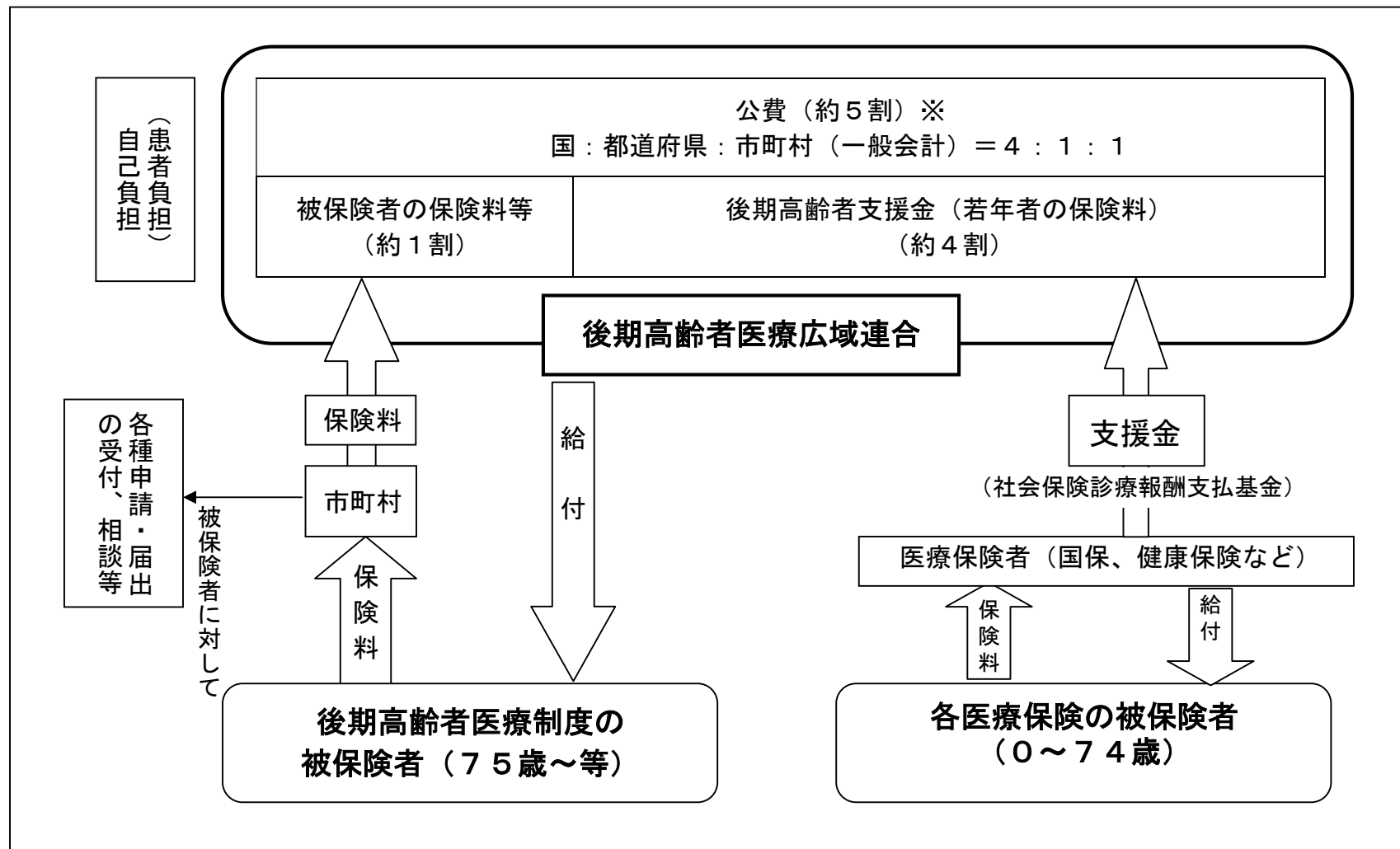
後期高齢者医療義務	H29 年度	H28 年度	増 減
	134.7 億円	132.2 億円	2.5 億円

3 平成 29 年度制度改正について

- 保険料軽減特例の見直し
- 保険料軽減の拡充（5割軽減・2割軽減世帯の拡大）
- 70歳以上の高額療養費の見直し
- 入院時の居住費の見直し

平成 29 年 2 月 9 日
保健福祉局保険年金課(582-2415)

●後期高齢者医療制度のしくみ



掲載事業 担当課一覧

	事業名	担当課	電話番号
(1) 地域福祉・高齢者福祉の推進			
拡	介護予防・生活支援サービス事業（予防給付型・生活支援型）（介護特会）	地域福祉推進課	093-582-2060
新	介護予防・生活支援サービス事業（サービスC検証実施）（介護特会）	認知症支援・介護予防センター	093-522-8765
拡	介護予防ケアマネジメント事業（介護特会）	地域福祉推進課	093-582-2060
拡	医療従事者等認知症対応力向上研修事業	認知症支援・介護予防センター	093-522-8765
拡	認知症地域支援・ケア向上事業（介護特会）	認知症支援・介護予防センター	093-522-8765
拡	地域相談支援事業（介護特会）	地域福祉推進課	093-582-2060
	北九州市認知症支援・介護予防センター運営事業	認知症支援・介護予防センター	093-522-8765
	在宅医療普及推進事業	地域医療課	093-582-2678
	在宅医療・介護連携推進事業（介護特会）	地域医療課	093-582-2678
新	（仮称）第五次北九州市高齢者支援計画策定事業	長寿社会対策課	093-582-2407
拡	介護ロボット等導入実証事業	総務課（計画係）	093-582-2497
新	高齢者いきがい活動ステーション連携事業	長寿社会対策課	093-582-2407
新	介護のしごと「人材定着・職場環境改善」事業	介護保険課	093-582-2771
新	リハビリテーション相談支援モデル事業（介護特会）	地域リハビリテーション推進課	093-522-8724
新	レインボー広場再整備等事業	総務課（社会振興係）	093-582-2497
	人権の約束事運動	人権文化推進課	093-562-5010
(2) 障害福祉の推進			
新	次期北九州市障害者支援計画策定事業	障害福祉企画課	093-582-2453
	総合療育センター再整備事業	障害者支援課	093-582-2424
	障害者差別解消法推進事業	障害福祉企画課	093-582-2453
拡	訪問入浴サービス事業	障害福祉企画課	093-582-2453
新	（仮称）重度障害者大学等進学支援事業	障害福祉企画課	093-582-2453
	発達障害者総合支援事業	障害者支援課	093-582-2424
	障害者就労支援事業	障害者就労支援室	093-582-2986
(3) 健康の維持・向上と地域医療の充実			
新	北九州市健康づくり推進プラン次期計画策定事業	健康推進課	093-582-2018
新	食育に関する実態調査	健康推進課	093-582-2018
	北九州市認知症支援・介護予防センター運営事業（再掲）	認知症支援・介護予防センター	093-522-8765
拡	認知症地域支援・ケア向上事業（介護特会）（再掲）	認知症支援・介護予防センター	093-522-8765
拡	難病患者支援体制推進事業	健康推進課	093-582-2018
拡	フッ化物塗布事業	健康推進課	093-582-2018
拡	がん検診推進事業（県との共同事業等）	健康推進課	093-582-2018
新	北九州市骨髄等ドナー普及促進事業	地域医療課	093-582-2678
	在宅医療普及推進事業（再掲）	地域医療課	093-582-2678
	在宅医療・介護連携推進事業（介護特会）（再掲）	地域医療課	093-582-2678
(4) 保健・衛生管理体制の充実			
新	感染症患者移送事業車両更新	保健予防課	093-522-8711
拡	自殺対策事業	精神保健福祉センター	093-522-8729
	斎場大規模改修事業	保健衛生課	093-582-2435
	犬猫致死処分ゼロ対策事業	動物愛護センター	093-581-1800

特別会計

国民健康保険特別会計	保険年金課	093-582-2415
介護保険特別会計	介護保険課	093-582-2771
後期高齢者医療特別会計	保険年金課	093-582-2415
食肉センター特別会計	食肉センター	093-521-0172